

立花（高五回生）和也

終身会長の長老支配が続いたところが多く、私の住む西須磨地区もその例外ではありませんでした。例え重大なことでも市民に都合の悪いことは行政の意を汲んで子細な住民に知らせず、万事情報非公開であった。

行政は、これと地元民には十分理解を得たので○○事業を推進するのであった。

震災を前後して住民意識が高まり、かなりの地域で変革が少しずつ進んでいるようだ。「二十一世紀社会は、市民主役の社会」、行政は住民と対等に対話し対立から協調へ。

一方、市民生活に関わる重大な問題が山積様々な住民運動に参加

署名集め、集会、街頭モとシルバーパワーを合開した。・阪神淡路大震災被災者支援去・神戸

平岡亮三
(高三回生)

”色気”もある。十把二
からげはひどいではない

寂しいのである。この疎外感こそが僻みの原因なのである。疎外感と言えば、かつて覚えがある約五十年前、背丈も体力も親父を凌ぎ、議論も行動力も大人に負けず、食欲は人一倍、色欲などは群を抜いていた。それでも子供扱い、大人の世界

には入れて貰えなかつた。でも、生活力が残して、好きでなまらなかつた少女は、ず

平岡亮三
(高三回生)

”色氣”もある。十把一からげはひどいではないか。

寂しいのである。この疎外感こそが群みの原因なのである。疎外感と言へば、かつて覚えがある約五十年前、背丈も体力も親父を凌ぎ、議論も行動力も大人に負けず、食欲は人一倍、色欲などは群を抜いていた。それでも子供扱い、大人の世界

には入れて貰えなかつた。でも、生活力が残して、好きでなまらなかつた少女は、ず

ら今すぐ始めよう。
 この美しい地球を！あ
 なたのお孫さんや未来の
 子供たちのためにも守り
 ましょう。
 学内のクラブ活動で

は、ゴルフ、男の料理、社交ダンス、マジック、歴史探訪の各クラブと福祉ボランティアと新しいことにも果敢に挑戦している。あの映画には関係なく、今なぜか社交ダンスにはまっている。昨年の支部総会でK嬢からダ

「同窓会のこと」阪神寺支支部結成当時から永年にわたり同窓会活動に参画して頂きましたが、昨年の改選で勝手ながら、本年の役員退きを決めました。今後は気楽な立場で支部の活動に

協力できればと思います。阪神支部も支部報が継続して発行されるなど、心強い限りです。

（野球部のこと）　これまで七二センチ、四六キログラム、殆ど幽霊の風来で求めるほうが少々無理、ガールフレンドすべて四散。唯一残ったのがミッツ子夫人。これを逃せば後がない、幽鬼の頭ふり乱して

なりふり構わず、情のゆなしにしゃべりすがりつた。三畳ひと間流し付いた小さな水屋が一つ。新居は新築でおまけに壁も塗りたて、寒い冬の日、朝日覚めるのと布団一面に息の白な霜が降りて殊に喜ぶ掛かる襦袢は厚く、押さえるとペリッと小さく鳴えつつ様な気がした。筋筋のかいにも風呂屋、それまで帰りに外で待合せ、洗った髪が芯まで冷ま

て石鹼がカタカタ鳴って
 …”神田川“の世界。で
 も”神田川“の曲はまだ
 生まれてなくて、場所は
 淀川べりだった。結婚式

出席して

東洋流
(高六回生)

で選任する(2)会員は会費を納める(3)会計査役(4)支部分会設置などの諸制度が導入された。これらにより全般的、健全な財政の確保、

団体の姿になった。また、運営制度が確立し、組織運営が円滑だと評価される。昨年十一月、本部総会において、当支部会員が支部役員に選任された（支部長の前向きな会営に帰するところ大である）会則が整い、本部の協力体制ができ、基礎が形式ながら築かれた。役員、会員共に会営の会に育つことを願う。

二、現行、総会、懇親会、支部報発行、母校訪問、研修旅行の五事業の外、在校生の校内外活動の開始のためのが百円シヨブ。二店舗からのスタート。でも業界を知って貰いたのは、この規模で、社員の給料で精一杯、これどころか早晚淘汰される事も亦明白なのである。

るつまり片手間で急
るそうないから、急
れる様に広域化と多店
化に走って、現在未だ
の途上にある。それに
年を少し過ぎた」と
業とも新参の駆け出
小突かれば、悪戦苦闘
日であると言う状況も
継続している。

「どのかな春の日は
れそうでなかなか昏れ
い、きれいに刈り込ん

芝垣の向こうに……」源氏物語?の口語訳でも、ろうか五十年前、先生の朗読。やがて暮れるに決まない人生の日没、でま

止める支部、即ち、参加意識と運営努力とが一致して、活動の輪が拡大するであろうと念じて止まない。

三、平成八年は「フラ

この度は母校ギターマン・ドリンドによる演奏を鑑賞する機会を得た。小ヶ谷保澄夫（十三回生）氏の進行により、パッヘルベーンの「カノン」をはじめ、全五曲を演奏し、最後に校歌合唱の伴奏で締め上げた。故々の名譽と

え、卒業生先輩一堂の演奏の伝統がある当部とは違って、歴史に残り、部達には、生涯忘れられない良き思い出になることでしょう。当支部としても、今後とも機会があれば企画し、存続させてもいたい。

ギター・マンドリン
ベースが奏でる独特の雰囲気がよく調和し、明澄

郭が響くとき感じる苦味、
魅せられた聴衆は、暫し
耳を側立て、静かに、背
筋伸長の姿勢で、熱心に
傾聴し、楽しく鑑賞して
いた。演奏が終ることの
拍手返しの波には、親が
子に、兄姉が弟妹に對す
る肉親の情を思わせる暖
味のある熱烈な感極まる
感激が垣間見られた。是

年会費納入のお願い
 今年の年会費が金2,000円
 ますので、同封の郵
 で納入して頂きたい
 す。
 替払込書のない場合
 は、脳裡深くに残り、未
 だ記憶に新しい。

当支部年会
当支部の1ヶ
になっており
便振替払込書
お願い致しま
なお郵便振

思い出の記

元数学教師
宇城 隆

私は津名高校に昭和三十三年から平成二年まで勤務し、あと一原高校に転じて、四年前の大震災直後に定年退職しました。

阪神支部の方々は震災復興に尽くし、懸命に新時代を築かれていく事と拝察します。教師生活のほとんどもを占める津名高は、懐かしくもほろろしい思い出で一杯です。青年時代は、教師として未熟児であつたと皆さん方から今も冷かれます。クラブ顧問としては体操部・陸上部・卓球部・水泳部等を転々と、指導技術の無さで、放課後は木造校舎の宿直室で盤盤に向かう常連でした。

ただ、クロスカントリ―大会では、イザナギ神宮まで往復の男子コースで上位に入ったりして、陸上部を統御しようと思つていました。専門家が来たので転向しました。学級担任は十三期生から始まり、入学から卒業まで三年間を持ち上げるのが普通で、七・八サイクルを経験しました。十三期生の卒業前に私は結婚し、校舎が次々と鉄筋コンクリートに建て替わつて、青年教師時代が終わりました。日本は東京オリンピックや万博へと高度成長を謳歌して、

管理職に転向しました。津名高の校史である「えんじの青春」の新聞連載と出版が、昭和末から平成初めにかけ行われ、牧歌的な懐かしい話題が集められました。原稿を催促して「毎日新聞」支局へ頻りに運びました。既刊の他校史に遜色のないものを、記事の長短等も口を挟み失礼を重ねたこともありました。

教師生活の終りになる程、詰め込み教育を否定し、ゆとりと精選とを心がけ、時代の流行語が氾濫し、別な方面の配慮が求められる時代となりました。授業で勝負などと大声で言えなくなり、心の中で昔は良かったとつぶやく老教師になりました。

「定年」を考える
平松 忠 (高八回生)

今、この原稿を書いている時、ラジオから公務員の定年延長のニュースが報じられている。要するに60から65に延長することである。何故この時期に延長か、色々議論のあつてはいるが、この結果、幸いにして、殆ど定年延長は再就職し、一年前より、全力を傾注して参りました。その結果、幸いにして、殆ど定年延長は再就職し、一年前より、全力を傾注して参りました。

演奏曲の紹介
津名高等学校
ギターマンドリン部一同

この度は、このような席にお招きいただき、誠にありがとうございます。二曲目、ビートルズの大ヒット曲「レット・イット・ビー」でした。これは「なるようになるさ」という意味です。五曲目は、演奏した曲の中で、一番大変な曲、「デイズ・イン・メイ」でした。デイズ・イン・メイは、流れてくる曲ばかりなので、聞いたことのある曲ばかりです。オーブニングは、ピノキオで流れている、

学校法人 **八代学院**
〒655 神戸市垂水区学が丘5-1-1
0004 (本部・大学・高校)
法人部 事務局 岩井 吉人 (高12回生)
本部 (078) 709-7151代

神戸国際大学
経済学部・経済学科(男・女)
都市文化経済学科(男・女)
神戸国際大学 附属高等学校
(普通科)・(国際科) (男子)

三洋ライフ・エレクトロニクス株式会社
相談役 笹川 英明 (高五回生)
本社 千葉県習志野市大田町一丁目一
電話 0476-80-1111 一室一
自宅 千葉県習志野市大田町一丁目一
電話 0476-80-1111 一室一

淡路コンクリート工業株式会社
代表取締役 藪田 好一 (高五回生)
〒656-0014 洲本市桑間二丁目五十一

株式会社ニチリン
代表取締役 外原 利彦 (高五回生)
〒656-0014 洲本市桑間二丁目五十一

立花 和也 (高五回生)
〒656-0014 洲本市桑間二丁目五十一

井護士 本田 卓 禾 (高六回生)
事務所 神戸市中央区多聞通二丁目一番七号
電話 078-813-1111 一室一
FAX 078-813-1111 一室一

成栄運輸株式会社
代表取締役 志智 正光 (高六回生)
〒532-0031 大阪市淀川区加島三丁目三番八号
電話 06-6633-1111 一室一
FAX 06-6633-1111 一室一

総合食品問屋 太定 (高六回生)
〒656-0014 洲本市桑間二丁目五十一

江本 本相 元子 (高六回生)
〒656-0014 洲本市桑間二丁目五十一

松 下 勝 (高六回生)
〒656-0014 洲本市桑間二丁目五十一

五色郵便局
局長 正木 八郎 (高六回生)
〒656-0014 洲本市桑間二丁目五十一

私が出会った 心に残る子供達

岩本昌子
(旧姓 高橋)
(高十四回生)

私は二十一年間の養護教諭生活を終えたばかりの新人の専業主婦である。まだまだ先のことと思つていた生活が思いの外早く訪れ、戸惑いと割り切れない気持ちで交錯し、空虚な生活を送つていた退職の数ヶ月。やつと今の自分を受け入れたのは、つい最近のことである。

卒業と同時に学校へ就職した昭和四十年代の初、未だ学校にゆとりがあり、「楽しい学校」の雰囲気から漂つていた頃、私の養護教諭としての第一歩がスタートした。養護教諭の配置されていなかった学校に通学していた小・中学校時代。高校で出会った志智先生が初めての養護教諭であつた。しかも今程保健室を身近に感じることもなく、こんな私が養護教諭を志し、モデルとすべく、論議もいらない中でのスタートの心細さは、今思えば懐しくさえ思ひ出される。そして子供達との出会いが始まつたのである。

地域の入道との出会いがあつた。今で言う不登校とか保健室登校とかの影を微塵も感じることなく、大多数の子供達は、いつも元気に挨拶を交わして行く。放課後、運動や音楽に汗を流す子供達を見学出来る位余裕もあつた。

私が初めて妊娠し、少したお腹が目立ち始めた頃、保健室の掃除に来た六年生のD子ちゃんの一瞬、私は思わず「うん、長い便秘やね」と答えた。その後、「先生赤ちゃんと生まれるんやっつたんや」と「私恥ずかしいわ」とはにかんで言つた彼女の顔がとてまわかつた。一年生の子供達と遠足に行くとき、珍しき人とお出合ふ様に私にまじりつづき子供達、子供達の

とで、「ピン」と言われ、温もりを肌で感じ、子供達の可愛さを身近に感じた。その後、定期異動で中学校へ。前任校とは違ふ子供達の視線を感じ、未知の世界へ飛び込んだ私の不安を見透かしたかのように、私を傾聴し、体は大きくても未だ未だ子供だと思ひ、何となくはかれる気がした。その時の印象を、今は一児の母となつたかつての教諭は、こんな便りをくれた。

「先生との出会いは、私が中学二年生の時でした。新学期早々、二年四組の私の班は保健室の掃除に当たり、新しく変わったこの保健室の先生はどんな感じかな？と一いつて思つていたら、いきなりなんか掃除のこ

に光つていた。子供も教師も生き生きと掃除する様は、今の子供達と少し印象が違ひました。親しい客は、「いつ来ても気持ちよく用がたせる」と言つて帰つて行く。しかしこの頃から少しづつ、全国的に校内暴力の風が吹き、岩屋中学校も避けて通れない状況にあつた。そして、「不登校、保健室登校」という全く違う子供の出会いに直面し、私の養護教諭としてのあり方や意識改革を迫られたこと、そして仕事の悩みが一層増していったこの頃からだった。自分の生き方に真剣に悩み、教室に行きたくて休んで子供達と、保健室ですと一緒にいる

と「教師と生徒」という関係よりも、悩みを共有できる人との繋がりになつていようと思ふ。どんな手をさしのべればよいのか苦悩したことがあつたが、時間がお互いの心を癒してくれたように思う。さらに子供達には素晴らしい友人がいて、彼らが悩みを共有し支えてくれたことも事実である。一人一人の悩みの違いと限られた時間と私の力量では解決できなかったことも多く、彼らの友人には本当に感謝している。

昨秋私を「ばあや」と呼んでばかりなかつた教諭の子に偶然岩屋で再会した。養護教諭を目指したいと幾度も相談に来た彼女。今、看護学生としてしっかりと自分の道を歩んでいく。若くして亡くなられた父親の喪中欠

島から遠く離れて アジア的混沌の中で

毎日新聞 編集委員
東 靖 晋
(高十五回生)

新聞記者になつて、今年でおよそ30年になりました。それ以前は四半世紀以上……自分でも、ちょっととした驚きです。もともと、何が何でも新聞記者になつてやろう、というわけではなかつたのですから。

大学時代の大半は、学生闘争の嵐の真只中にいました。あの時代の空気を吸い込んだ者は、その後何となく先づいては、ある程度限られてきます。少なくとも、私にはそう思ふことも、自分

がいない、とも。そして、最初に合格通知をもらったのが毎日新聞だった。最初の赴任地は、本州の端つこの下関支局でした。もちろん、勤務は北海道から沖縄まで全国どこでもありなかつた。これには少々びっくりしました。実は、それまで広島(浜田移転の宿のころ)から西へ行ったことがなかつたのです。夕日に向かつて走る列車のなかで、九州に在任する同僚たちと、ただひたすらサントリールを飲んで、いたことを覚えています。

その後の時間の、何と早いこと。結局、思いがけず、記者生活の大半

文化とすれば、後者は生活にかかわる文化です。つまり福岡は前者を、アジアから風を一手に引き受けた「文化の十字架」だったのです。その風が、その初発の地点から辿り直して来たかつかつたこと、この二つのわがまが叶えられたのです。が、幸運というべきでしょうか。たいした決意も覚悟もなく、ただモノが書ける、というだけで新聞記者になつたのです。が、今この仕事が天職のように思ふてくるから、本当に不思議です。

「アジア」が溢れていました。東京に行きより、ソウルに行きが近いのです。かつ、大陸からの文化は、まずこの地に上陸しました。南島沿いに北上する文化も対馬暖流に乗つて、やはりこの地にたどり着きます。前者を国家や権力にかかわる

と「教師と生徒」という関係よりも、悩みを共有できる人との繋がりになつていようと思ふ。どんな手をさしのべればよいのか苦悩したことがあつたが、時間がお互いの心を癒してくれたように思う。さらに子供達には素晴らしい友人がいて、彼らが悩みを共有し支えてくれたことも事実である。一人一人の悩みの違いと限られた時間と私の力量では解決できなかったことも多く、彼らの友人には本当に感謝している。

昨秋私を「ばあや」と呼んでばかりなかつた教諭の子に偶然岩屋で再会した。養護教諭を目指したいと幾度も相談に来た彼女。今、看護学生としてしっかりと自分の道を歩んでいく。若くして亡くなられた父親の喪中欠

保宗 幸夫 (高六回生) 〒658-0041 神戸市垂水区城山五十一番五 〇七七八七五二一〇五		尾崎 田鶴子 (高六回生) 〒565-0001 摂津市千里丘四一四二七 〇六一六八四一四〇七〇		古土井 和佳子 (高六回生) 〒652-0004 神戸市兵庫区福富三〇一五 〇七七八一三三三〇八		坂東 章好 (高六回生) 〒658-0042 大阪府吹田市野田三二一八 〇七二〇一四七六九〇四番		森多 貴美子 (高六回生) 〒595-0066 大阪府住吉区住吉東一三二五 〇六一六六九一〇〇三		石原 富子 (高六回生) 〒650-0022 神戸市中央区元町通二一三三 〇七七八一三三二一四七八		坂東 洋治 (高六回生) 〒654-1114 神戸市北区鈴蘭台西五丁目一五九 〇七八一五九三二二四五		郡 益彦 (高六回生) 〒658-0001 加古川市平岡町新在家一七四五二二九 電話 〇七九四一四一四一三三九		北沢元助役 栗田 智之 (高六回生) 〒656-1006 津名郡北沢町津名一四一〇一四 電話 〇七九四一八四一〇二五		太田 均 (高六回生) 〒595-1146 大阪府高槻市赤大路二九一七 〇七七八一六九五五一五六		高田 一弘 (高六回生) 〇七八一七四三三三三	
--	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	--	---	--	--	--	--	--	---	--	-------------------------------	--

（旧姓 塩崎）
（高十九回生）

です。いまのボールウントは「と聞かれました。上へ上げ、手をとって、なかつたで思わす『ボール』」としてしまいましたが、実際に試合中のストイクッドといった苦い経験があります。

そんな私が甲子園大の審判委員をつとめたのは、四年夏の第十四回遠征にいったいたのは、平人軍のゴジラ松井が星高校で五連捷を遂げた年でした。デビューは二塁監督、足の振るが止まらぬほど緊張が来ましたが、あれから今はまた変わりました。甲子園のグラウンドはすでに鈴の中に入れられた状態、隣の審判の目が見えぬというライナー制の打球、野手の送球が実に見つらうのが実に見つらうのでミスがでてくるのでミスがでてくると、テレビ中継の審判は度々緊張をもちながらやることを、技術向上につながるものと思えて取り組んでいます。とにかく、集中力をさらに高めてチームの中で、常に正確な判定を下せることが重要なことです。

甲子園の審判になるはいろんな分野、各野球選手、私の場は兵庫県高等学校連盟、関西学生野球連盟、国西学生野球連盟）の推薦が必要で、自分でもできることはあります。ですから、自分が甲子園のクランツの上につけて、高校と一緒に行きまわれのも、母校校

「精神障害者福祉
「社会福祉院」という一
葉を聞かされた事はあ
には、約三十四万人の
精神障害者の方が入
ており、その内の約三
位は、社会の受皿とい
れば退院可能と言われ
います。私は現在、民
の精神病院で、精神科
ーシールワーカーとし
働いています。精神科
ーシールワーカーにつ
て少し説明させて頂
と、経済的な相談から
会復旧援助をはじめ
の相談援助業務とい
事になります。

さて、時の流れは早
もので、私が津名高を
業し、淡路を出てから
五年が過ぎました。思
い起こすところ、高
うと自分の人生、職業
について考えた事が
した。「何とかなれそ
な大学に進学し、就
なく難関企業に就職
て、こんな事を考え
つながら気分がふ
い、自分の前に「ま
と」「杜祖福」の四
が飛込んできたわけ
この時は、とにかく
無我夢中で「社会福
は何か」というテー
掲げて大学の社会福祉
部へと進学したわけ
。そしてさらに月日
流れ、大学四年生にな

青木聖久

新緑の季節、薫風に巻
つて、毎の会報が皆様のお
手元へ届けられ、一読し
ていただく、空気が澄々
路島の美味い、空気を胸
一杯に膨らませり、しゃ
べりたときのような気分
分になつていただけまし
うか。

今も皆様の力を支
得て、第4回目の支那報
を発行することが出来まし
したこと、偏に感謝申し
上げます。

さて、日本経済は未だた
明るをとり戻せず、不
況に、い言葉を目にした
気はありませぬ。景
「雇用情勢好転」こん
な世の春を告げる記事も
一日も早く目にしたいも
のです。

株式会社教
五ツ木模機デス
代表取締役社長
TEL
ラッピン
初全日
高松市
F.T

新緑の季節、薫風に手
つてこの会報が皆様のと

は間違いないようです。

幸い来春には世界的な規模で、ジャパネット2000が淡路島で開催されそうです。この催し物も、淡路島ひいては日本の気候復興の起爆剤となるべく、大いに期待しております。

最後になりましたが、今回の編集にあたり、稿のご寄稿と、賛助広告にご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

皆様の原稿をお待ちしておりますので奮って寄稿願います。

編集委員
坂東 洋治（高六回）
平松 忠（高八回）
近藤 甲一（高十四回）
北川 晴孝（高十五回）
中田 曉（高十七回）
花野 正悦（高十九回）

尾崎進

青研所
セミナー教員

〇七五六一九二二三

グーグル
工用協会の講師
尾崎聡子

XI七二六九四七七六

御食処ハ 中	(株)ネオオフ 取締役 中 自宅 神戸市 S	株式会社 アクト音 代表 〒五三 大阪市淀川 FAB	土地家屋調査 吉井敏 〒617-0016 兵庫県西宮市 F電	税理士 花 〒652-0804 F電	弁護士 海事補佐人 藤 事務所 SH-063 F電
-------------------	---	---	---	---------------------------------------	--

かり
野光久 (高十七回生)
宮町部家七六一
七九八五〇三二二
田晴繁 (高十七回生)
華水部神和台二目五十三
〇七八九七九一一二九八
菅振動調査事務所
山本和寛 (高十九回生)
西中島岡岡目上 番二百
六十六三三〇六五五五
〇六六三三〇六五五五
土・行政書士
敬恭事務所 (高十九回生)
臨市井田町五九九番地の
話〇七九五三一一四八
話〇七九五三一一三七
野正悦 (高十九回生)
市兵庫区塚本通七一一四
話〇七八七五八五五三
〇七八七五七三二八
木啓彰 (高二十七回生)
阪市中央区高麗橋一丁四一
話〇六六六三三〇〇〇〇
〇六六六三三〇〇一〇

種苗農業、フィルムキ、農業資材、総販売
たきの種苗株式会社
瀧 埜 德 男
(高十五回生)
兵庫県津名郡津名町志築一六三七一五
a〇七九九一六二一〇二五一
国本齒科医院
院長 国 本 竝 功
(高十七回生)
津名郡東浦町久留麻二五〇六
a〇七九九一七四一二一一
日航観光(株)
代表取締役 長 野 村 三 朗
(高十七回生)
大阪府東淀川区菅原一丁目一六一一四
a〇六一六二二一三一五

[illegible]